

「わいわいがやがや」

一年間ありがとうございました



国際ロータリー第2660地区

2004～2005年度ガバナー **宮田 宏章**

2005年6月30日をもちまして、ガバナーとしての任務を無事終える事ができました。私の任務の一つとして、毎月皆様にこの月信でガバナーメッセージをお送り致してまいりました。

2004～2005年度はロータリー創立100周年の記念すべきおめでたい年でありました。この年度に各クラブの会長・幹事さん、また委員会委員長を担当して頂きました会員の皆様には、恒例の委員会活動の他、100周年記念プロジェクトや行事に御尽力・御

努力賜り、100周年らしいクラブとして歴史に残る成果を導いて頂きました。

まさに「Celebrate Rotary 100years」そのものであり、そのご奉仕に対し心より感謝と敬意を表します。

グレンE.エステス・シニアRI会長は、100周年社会奉仕、双子クラブ・プログラム、識字率向上、保健、水、ロータリー家族、ポリオ・プラス、会員増強、財団への支援等に関し、全世界の会員の皆様に心からの援助を要請されました。

公式訪問で皆様のクラブに参らせて頂きましたが、本年度RIテーマのもと、各クラブの皆様はそれぞれのクラブに合った活動を積極的に起こされ、その成果を挙げておられるのを見せて頂き、感激致しました。そしてこれらの中には100周年と名を冠した地区IMや青少年活動のその他のプログラムを担当され、また多くの各クラブの奉仕がマスコミにも取り上げられ、ロータリーの広報にも大いに貢献されました。

次にクラブ訪問で最も印象に残りましたことを述べさせていただきます。

このロータリー苦難の時代にも拘わらず、会員数が減少していないクラブがこの地区に数クラブあることでありました。大方これらのクラブは例会会場に一步入ると「ワイワイガヤガヤ」という楽しさあふれる魅力に富んだクラブであるということでした。皆と一緒にいると楽しい、家族を巻き込んでいる、地域の人にも魅力ある新しい奉仕を試みている、感激する経験が積める、一言で言うとこれらのクラブは「入ってくれ入ってくれロータリークラブ」でなく「入れて頂きたいロータリークラブ」であるクラブと言えましょう。

ロータリーにとり100周年という大変重要な時期にガバナーの大役を仰せつかり、自らガバナーになれると思ってもみない私が、なんとかここまで任務を終える事が出来

ましたことは、偏に地区内会長・幹事さんをはじめとする地区内全会員皆様の御協力の賜物と心より感謝申し上げます。

ただ皆様に申し上げることが出来るのは、この1年ガバナー職を最優先に私の全てを捧げて奉仕させて頂き、この姿勢に賛同頂きました。先輩パスト・ガバナー、ガバナー補佐、地区委員長および委員の皆様、ホームクラブ以外の他クラブからの地区幹事の皆様には、地区運営に心からの声援と御尽力を頂きましたことを御礼申し上げます。

最後になりましたが、大阪北RCの皆様の変わらぬ友情と菅生浩三直前理事、大阪北RCガバナー室特別委員会平川恵一委員長・古市実アドバイザーをはじめとする皆様、地区幹事の皆様、そして松本進也代表幹事、米谷伸行副代表幹事、御厄介になった方々は紙面に尽くせませんが、有り難うございました。

地区内の全てのロータリアンの皆様に心よりの感謝を申し上げ、退任のご挨拶と致します。



元気ハツラツな地区ローターアクトの皆様



いち
一ロータリアンに戻ります！

